

滝野公園 またクマ

臨時閉園 前回と同じ個体?

28日午前11時50分ごろ、札幌市南区の国営滝野すずらん丘陵公園で、巡回中の公園職員がクマの足跡とふんを発見した。さらに27日収録分の監視カメラの映像で公園内にクマがいるのを確認できたことから、管理者の開発局は公園を臨時閉園にした。開園時期は未定。クマ出没の危険性から約1カ月間閉園とし、19日に開園したばかりだった。

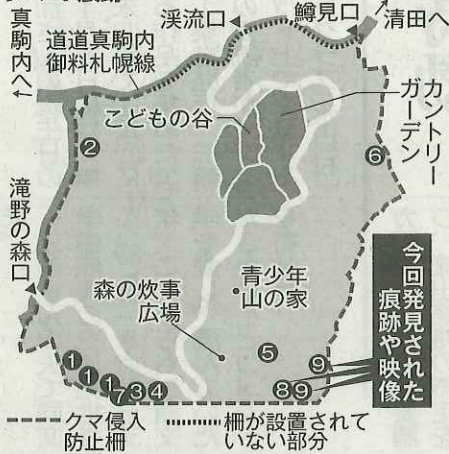
開発局によると、今回の足跡とふんは、公園南側のクマ侵入防止柵付近の2カ所で発見



侵入防止柵の園内側で、監視カメラに写っているクマ＝27日午後3時7分(開発局提供)

見。27日の映像も足跡に近い南側の柵付近だった。足跡の幅は約10センチで、9月下旬以降、相次いで見つかった前回と同じ個体かどうかは不明としている。柵は外周約8・6キ

国営滝野すずらん丘陵公園で発見されたクマの痕跡



今回発見された痕跡や映像

クマ出没の痕跡	日時	内容
①	9月23日	足跡、ふん(3カ所)
②	9月28日	足跡
③	9月30日	監視カメラにクマの姿
④	10月1日	足跡
⑤	10月3日	足跡
⑥	10月5日	柵に爪痕
⑦	10月13日	監視カメラに、園外に出るクマの姿
⑧	10月27日	監視カメラにクマの姿
⑨	10月28日	足跡、ふん(2カ所)

のうち約7・2キに設置しているが、道道などに面した北側にはない。侵入経路は不明だが、北側から入った可能性があるという。

また、監視カメラ映像で今月13日、クマが園外に出るのを確認後、園内に戻った痕跡が無いことから、開発局は「クマは園内にどどまっていたのではなく、新たに侵入した」とみる。巡回の増加、園外に逃がすためのゲートの開放などの対策を検討している。

クマの生態に詳しいヒグマ学習センター(登別市)の前田菜穂子代表(65)は、「足跡から判断すると前回と同じ子グマとみられ、園内で木の実などを食べたことを覚えていて、再び入った可能性がある」と指摘する。公園の近くに住み、小学2年の長女と利用

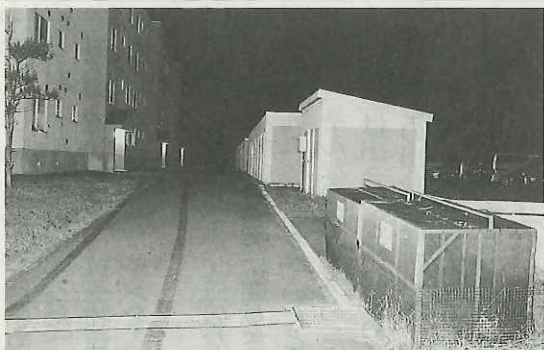
夕張の共同住宅でも

【夕張】28日午後8時半ごろ、夕張市千代田の教員用共同住宅の駐車場内で、居住者の夕張高等養護学校の教頭(55)がクマを目撃した。約10メートルの距離まで近づいたクマに、所持していた懐中電灯の光を当てると、林に逃げ去ったという。

夕張署によると、クマは体長1メートルほど。駐車場のうち、共同住宅から最短で約15メートル位置する、ごみステーション近くにいた。

教頭は共同住宅の近くにある同校の当直職員から「共同住宅付近で黒い動物のようなものを見た」と電話連絡を受け、直後に見回っていたという。

同署が警戒を続けている。クマが発見された共同住宅の駐車場の「ごみステーション(手前)付近」28日午後11時ごろ、夕張市千代田



夕張市千代田の共同住宅の駐車場で、クマの足跡と便が確認された。夕張市千代田